

大腸内視鏡検査説明書

検査日 令和 年 月 日

大腸について詳しく調べるために内視鏡による検査を行います。
必要な場合は、内視鏡下にポリープ切除などの治療も行います。この場合、短期入院となります。

検査を行うための下剤の服用や食事の制限があります。

検査が原因で腹痛などの症状を生じる可能性があります。数日以内に消失します。
まれに出血・穿孔などの重篤な合併症の発生が報告されていますが、頻度は全国集計で検査を受けた方の0.04%です。万一このような重篤な合併症を生じたときには入院していただき、迅速に適切な治療を行います。

病変が見つかった場合は、病理検査のため生検（組織の一部を採取すること）を行うことがあります。この場合、当日の運動、飲酒を避けていただく必要があります。
なお、血液が固まるのを防ぐ薬を服用中の方や血液が止まりにくい病気の方は、原則として生検は行いません。

ポリープがあった場合、大きさ・形によっては内視鏡的に切除できる場合もあります。本術を行うにあたってはご本人の同意が必要です。また、術後は短期入院（1～2泊程度）が必要です。術後約10日間は出血や穿孔などの合併症を生じる可能性（切除病変の約0.2%）がありますので、当日はポリープ切除後に下血や腹痛を生じた場合は来院していただき、適切な処置を行います。
穿孔などの重篤な合併症を生じた場合は開腹手術による治療が必要な場合があります。

医療法人徳洲会 南部徳洲会病院

令和 年 月 日

患者氏名:

内服薬チェックシート

- すべて止めない
- 止める薬は以下のもの